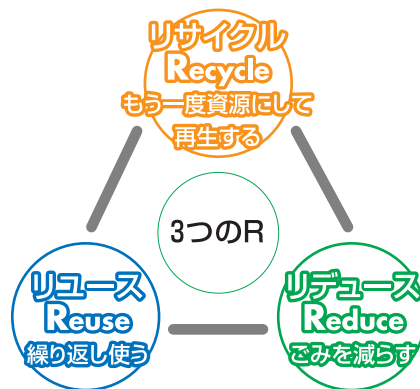


# 賢く選んでグリーン コンシューマーになろう



マイホームの完成に合わせて、家電や家具などを買替える人がほとんどです。そんなときこそ、本格的にエコライフを始める絶好の機会です。



捨てる前に、ちよつと待って！  
買う前にまず、本当に買い替える必要があるかどうか、よく考えて、3つのRを徹底しましょう。

環境ラベル例		
 <b>グリーンマーク</b> (財)古紙再生促進センター トイレペーパー、ノート、OA用紙など、古紙を規定の割合以上利用した商品に表示。	 <b>環境共生住宅認定制度</b> (財)建築環境・省エネルギー機構 地球環境の保全、周辺環境との親和性、および居住環境の健康・快適性を包括した「環境共生住宅」を認定する制度。	 <b>環境・エネルギー優良建築物マーク</b> (財)建築環境・省エネルギー機構 室内環境水準を確保のうえ、一定水準以上の省エネルギー性能を有する建築物に表示。
 <b>PETボトルリサイクル推奨マーク</b> PETボトル協議会 PETボトルのリサイクル品を使用した商品に表示。	 <b>国際エネルギースターロゴ</b> 経済産業省 OA機器を対象に、日米政府が承認する省エネルギー任意登録制度の基準をクリアした製品に表示。	 <b>エコマーク</b> (財)日本環境協会 ライフサイクルを考慮して基準を設け、審査で基準を満たしている製品を認定し、マークを表示。

詳しく知りたい人は、環境省ホームページ「省エネラベル等データベース」  
<http://www.env.go.jp/policy/hozen/green/ecolabel/f01.html>をチェックしよう!

購入するなら地球にやさしい商品を選ぼう！  
新たに購入するときはなるべく環境配慮型の商品を選ぶように心がけよう。  
掛けましよう。環境にやさしい商品は、製品に付いている環境ラベルのマークや情報表示で簡単に見分けることができます。

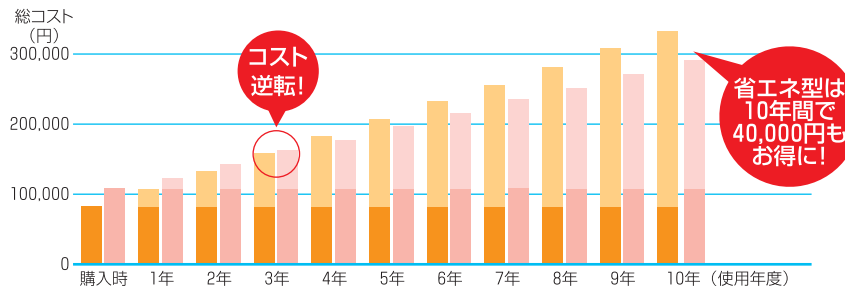
## ■エアコン（冷房能力2.8kW）の購入コストと年間電気代の関係

### 省エネ基準達成率100%

電気代 年間電気代=26,048円  
 購入コスト 本体価格=83,000円  
 (期間消費電力量=1,184kWh)

### 省エネ基準127%

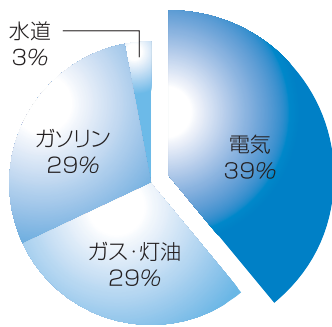
電気代 年間電気代=19,602円 ※1  
 購入コスト 本体価格=107,000円 ※2  
 (期間消費電力量=891kWh)



参考 ※1 消費電力量は、2005年4月末時点のメーカーカタログの期間消費電力量から算出  
 ※2 購入コストは2004年7月の売り上げ集計データによるもの

＜出典：(財)省エネルギーセンター資料＞

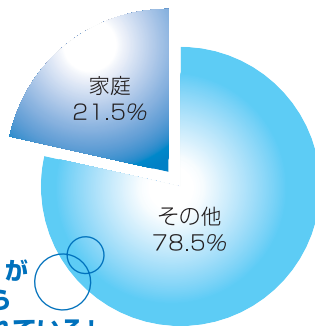
## ■家庭で消費されるCO<sub>2</sub>



＜出典：兵庫県地球温暖化防止活動推進センター「エコチェックカレンダー2003報告」＞

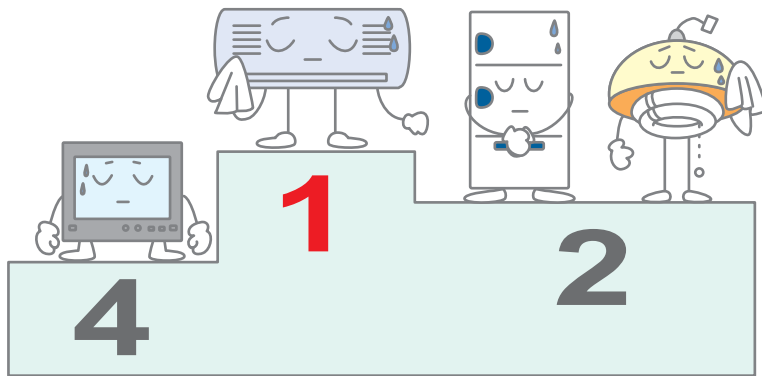
## ■CO<sub>2</sub>はどこから排出されている？

日本のCO<sub>2</sub>総排出量(13億3,900万トン)



5分の1が  
家庭から  
排出されている！

## ■家庭で一番電気を消費するものは？



**家電を買うときは特に注意しよう！**  
 地球の温暖化を進める原因となっているCO<sub>2</sub>は、家庭からも大量に排出されています。その最大の原因となっているのが、家電に使用する電気です。最近では消費電力を抑

えてくれる省エネ家電が次々と登場しています。購入価格は普通のものとは比べて少々高めですが、電気をカットする分、長い目でみるとお得です。新たに家電製品を購入するときは、電気をむだに使わない省エネタイプを選んで、上手に使

いましょう。家庭で消費される電気の約67%は、エアコン、冷蔵庫、照明器具、テレビの4つに使われています。古い機器を省エネ家電に買い替えるだけでもCO<sub>2</sub>は削減され、家計も節約できます。

## 省エネ家電を見分けるコツは？

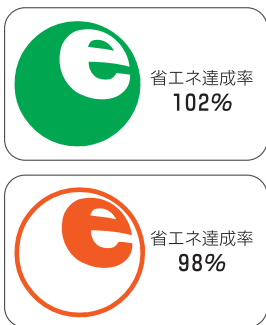
「省エネルギーラベリング制度」により、省エネ家電にはどの製品が省エネ機能に優れているかを一目で見分ける「省エネラベル」が付いています。現在、13品目が対象です。

### 対家機器

エアコン、テレビ、電気冷蔵庫、電気冷凍庫、蛍光灯器具、ストーブ、ガス調理機器、ガス温水機器、石油温水機器、電気便座、電子計算機、磁気ディスク装置、変圧器

### 省エネ性マーク

省エネ基準を達成した製品は緑色で、達成していないものはオレンジ色で表示。緑色のマークが付いているものを選ぶようにしよう！



### 省エネ基準達成率とは...

製品が目標値をどれくらい達成しているかを%で表示したもの。この数値が大きいくほど、省エネ効果も高いということ。